

令和3年1月13日

医療法人公仁会姫路中央病院  
理事長 東 靖人

新型コロナウイルス感染症クラスターの収束と感染防止対策に関しまして

平素より当病院の運営に格別のご高配に賜りまして誠にありがとうございます。

12月に当院で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、皆さまには大変なご不安とご迷惑をお掛け致しました。あらためまして深くお詫び申し上げます。

すでにご報告のとおり、12月初旬より一つの病棟をコロナ専用病棟とし、完全に隔離した状態で運用しておりました。

また、入院患者様におかれましては、12月23日に1名の陽性を確認して以降、新規感染は確認されておられません。

職員につきましては、最後に陽性を確認した職員は隔離病棟に勤務していたため他の病棟との接触は一切なく、一般患者様の利用するエリアにも一切立ち入っておりません。また、感染予防を徹底した状態で勤務しておりましたので、他の方に感染を広げている可能性は極めて低いと考えており、当院におけるクラスターは収束したと判断しております。

姫路中央病院では、すでに1月4日より通常通りの診療を開始しておりますが、今回のクラスターを教訓に、今まで以上に感染対策に力を入れております。

入院時の検査実施、面会制限のほか、外来待合室の座席間や診察室内のパーティション設置、空気清浄機の設置をはじめ、入館時の手指消毒、体温のチェック徹底、定期的な換気と消毒清拭を徹底して実施しております。

ご来院の皆様におかれましては、マスク着用と入口での体温チェックにご協力をお願いいたします。

また、待合での密を避けるため、受診時の付き添いに関しましては1名のみ入館をお願いいたします。

皆様に安心してご来院いただけますよう、今まで以上に感染対策を万全にし、地域の皆様のご期待に沿うよう尽力してまいります。

今後とも引き続きのご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上